

令和6年度

学校関係者評価報告書
(中 間)

令和6年 9月25日

学校法人 東洋学園

宮崎医療管理専門学校

はじめに

宮崎医療管理専門学校では、学則及び自己点検・評価規程に拠り、自己点検及び学校自己評価を実施しております。令和4年度の学校運営や教育活動等につきましても、年度初めに全教職員に提示した要項に基づき、年間を通して評価を行うこととしており、中間の結果を令和6年9月17日に報告書として取りまとめました。

以上をもとに、令和6年9月24日に第1回学校関係者評価委員会を開催しましたので、その評価結果について、ここに報告いたします。

なお、本報告書につきましては、学校自己評価報告書と同様、本校のホームページにて公開いたしますことを申し添えます。

令和6年 9月25日
学校法人 東洋学園
宮崎医療管理専門学校
学校長 川野 竜太郎

1. 宮崎医療管理専門学校 学校関係者評価委員会 委員一覧

関係機関・団体・企業	職名	氏名	備考
社会医療法人 慶明会	常務理事	牧野 剛	
社会福祉法人 宮崎市社会福祉協議会	事務局長	井畑 信二	
社会医療法人 善仁会 総合健診センター	統括	川端 利彦	委員長
社会福祉法人 慈愛会	介護支援 専門員	坂口 和幸	同窓会会長
社会福祉法人 恵浄福祉会	園長	川添 教道	

事務局

宮崎医療管理専門学校	学校長	川野 竜太郎	自己点検・評価 委員会委員長
〃	参 与	川野 哲朗	自己点検・評価 委員会委員

2. 委員会次第等

1) 日 時 令和6年 9月24日 (火) 14:00～16:00

2) 場 所 宮崎医療管理専門学校 会議室

3) 次 第

- (1) 開会、委員長挨拶
- (2) 事務局挨拶
- (3) 令和6年度自己点検・評価報告 (中間)
- (4) 各委員からの評価及び意見
- (5) まとめ

3. 内容

1) 事務局（学校長）挨拶

学生募集停止しているが、今年度も入学生を迎えており、教育活動及び教職員の雇用の継続を念頭に鋭意取り組んでいる。評価活動についても継続させ、本校の社会的使命を果たしていきたい。引き続き、教育活動や学校運営に係るご意見等いただき、改善に努めたい。

2) 川端委員長挨拶

本校の教育活動の継続をふまえ、これまでと同様、評価活動を含めて協力、支援に関わっていききたい。今回の評価で出された課題等について忌憚のないご意見等いただきたい。

3) 自己点検・評価の取り組み状況、結果について

(1) 学校評価の内容、方法、根拠の説明 <事務局：教務部長>

各部署評価、授業評価方法の変更、教職員研修等、本年度の要項について説明 ※P：校務分掌概要 他 D：関係議事録等（実績）

(2) 令和6年度中間評価報告 <事務局：学校長>

- ・「令和6年度 学校自己評価報告書」をもとに、評価項目ごとに説明。
- ・新入生の動向、介護福祉科とこども科の学生数減、その背景等
- ・就学支援金、奨学金等の受給状況 ※約半数
- ・学生募集停止後、学校存続に係る状況

<評価項目>

- | | | | |
|-------------|--------------|-------------|--------|
| 1 教育理念・教育目標 | 2 学校運営 | 3 教育活動 | 4 学修成果 |
| 5 学生支援 | 6 教育環境 | 7 学生の受け入れ募集 | 8 財務 |
| 9 法令等の遵守 | 10 社会貢献・地域貢献 | | |

※項目7「学生の受け入れ募集」を除く

4) 各委員からの評価及び意見 ※質問、意見等順に記載、主に評価3以下の事案

(1) 牧野委員（項目3）

- ・⑥に関連し、積極的な方策に至っていない理由は何か
 - 事務局：人材養成において、資質、指導能力の向上は必要だが、学校経営の厳しさが教職員の志気にも影響している。
 - 牧野委員：まず、現状や今後の見通しについて情報開示することが必要

(2) 川端委員（項目3）

- ・研修について、学校としての対応について
 - 事務局：個人としての研修は奨励しており、随時実施している。現状及び体制変更をふまえ、全教職員対象に学校経営に係る研修を実施予定

(3) 井畑委員 (項目4)

- ・退学に至る学生の状況等について

→ 事務局 : 退学する学生の多くが、入学時から、特に精神面で問題を抱えており、指導等で苦慮する場面もあるが、保護者との関わりを含め、学業継続を念頭に粘り強く対応している。

(4) 川添委員 (項目5)

- ・退職の状況について、経営者としても参考にしたい。

→ 事務局 : 就労先の訪問、来校時の相談等支援に努めている。職場での人間関係や目指す職業像とのギャップ、学生の頃と同様の課題が改善できていない等の理由で、早期に退職する学生がいる。在学中を含め、就労や生活改善等指導及び支援を継続したい。

(5) 坂口委員 (項目6、項目10)

- ・8/8の地震の被害状況、対応について
- ・関連して、災害ボランティアへの参加について

→ 事務局 : 基本的に関係機関等からの依頼に応じた案内、参加となっている。学生数減もあり、以前ほど積極的な関わりはないが、今後、ボランティア参加を含め、本校独自の社会貢献のあり方を検討していきたい。

→ 井畑委員 : 社会福祉協議会の取組、実績について説明

※項目1、2、8、9について直接的な意見等なかった。

5) まとめ

川端委員長

本委員会での評価や意見、第2部(教育課程編成委員会)をふまえ、学校運営や教育活動の改善、継続に活かしていただきたい。

以 上